

☆新年を迎えて

活動をはじめて14年目になる年が始まります。15年なら区切りの年でしょうが、遊林会にとっては別に特筆すべき年ではないと言いたいのですが…。個人的なことで申し訳ありませんが、何にとつては退職を迎えることになり大きな区切りの年です。それに合わせたわけではないのですが、東近江市は、将来の市民に負担を転嫁せず基本的な行政サービス(福祉、子育て、教育、医療等)を持続できるように本格的な行政改革をスタートさせようとしています。この影響からは河辺いきものの森や遊林会も逃れることはできないでしょう。官と民のそれぞれの力を最大限に引っ張り出して運営してきた河辺いきものの森ですが、その関係が変化する中で、今までの質を保つと共に安定するために、遊林会の活動範囲を拡大すべき時だと考えています。河辺の森での遊林会の里山保全活動が変わるとは考えませんが、自然体験学習や森の管理、新たな業務の受託、法人化の是非等も検討すべき年になることでしょう。それぞれの時々に関係者の皆様のご支援をお願いいたします。



親子で餅つき

☆作業日あれこれ

12月第2土曜日は定例作業と共に午後からは忘年会の日です。何などは天下御免でお昼の延長ができるかと思うと心浮き浮きの作業日のはずなのですが、自宅を出る時「明日は法事ですからね。くれぐれも支障がないように…」と申し渡されておりましたので、今回もまた自戒の作業日でありました。観察会は盆栽お宅氏担当、焚き火を囲んでそこから見えるクガネツチの高木を見上げての解説です。落葉の季節も終わり常緑のクガネツチの葉と赤い実が目立っています。例年ですと実を食べに来る鳥が見られるのは遅い冬の時期なのですが、初冬なのにヒトリが何羽もやって来て食べています。お宅はクガネツチの樹皮を使ってトリモチ(鳥餅)を作るんだと説明していますが、何の横で大先生が「あれは飼おうと思う鳥には使えんのか。食う鳥に使うんや」

とつぶやいておられます。話題を振られた蛇掴み名人も「ワヤ竹コ」にトリモチを付けて鳥が来そうな所に仕掛けるんです。少しでもトリモチが羽に着くと嘴で取ろうとするごとにねばねばのトリモチが羽に広がり飛べんようになるんですわ」と愛鳥家が聞いたら気絶しそうなことを言っています。もちろん今の話ではなく、遠い昔のことです。その手前にはセダンの木がありますが、この木は10年前に竹藪を抜根して整地した後



森のコンサートパンフから

に発芽したものです。セダンが生えてきたなと気づいた時にはまだ指ほどの太さで、いずれ切ればいいと考えていたのですが、セダンはヤウシなどと同様に伐採して明るくなるとまず生えてくる先駆種で生長が速く、今では幹周60cm、高さ8~9mにもなり簡単に切れない木となりました。

この日の作業は山神さん近くの竹林で竹の間伐を実施したほか、毎年12月の定番作業、草はらとして保全しているゾーンの機械刈りを行いました。草地として維持するためにクワヅキなど一部の植物を除いて毎年すべての植物を刈り払っていますが、毎年ここを刈ってくれている刈バーは作業後に「継続は力なり…で毎年刈っているおかげでずいぶん作業がしやすくなってきた」と仰っていました。こう仰る原因のひとつには、クワヅキやカトラノオなど多種多様な植物が生育していた当初より、近年は植生が変化してススキの群生など一部単純化しているせいかもしれません。作業はこの他にも交流広場での落葉かきがあり、こちら継続は力なりで、毎年丁寧に落ち葉をかいているおかげで林床にきちんと太陽が当たり、シュランなどが毎年元気に花を咲かせてくれるようになっています。

忘年会は正午の餅つきからスタートですが、この日は受験生の息子を引っ張り出してきた親子がつき手と返しを交替でやり喝采を浴びていました。つき上がれば、きな粉餅、あんころ餅、おろし餅にさせていただきますが、一番人気はいつもと変わらずおろし餅です。後は網焼き料理で一杯となったのですが、途中参加された市長を交え節度ある延長戦になったと考えています。

1月26日(水曜日) 週日活動 森の居酒屋は1月5日 午後7時頃~

1月8日(第2土曜日) 9時~(遅刻可)

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先(遊林会事務局): 滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL : <http://www.yurinkai.org/>

E-mail : ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえフォトログ」で検索!

朝から雨模様だった第4水曜日は、天候不順だったにもかかわらず16人が集まり、本年最後の活動を行いました。この日は今年被害がひどかったナラ枯れ被害木の最後の伐採作業です。残されたのはナラとアラカシの2本のみ。最後の活動日は午前中のみなので、何とか午前中に2本とも処理してしまいたいところです。

ところがナラの方は結構な太さと枝張りで、倒す方向も正確にコントロールする必要があります。こういう時はフルホールの出番となるのですが、やっかいなことに今回は牽引したい方向に1本も支柱となる木がありません。そこで今回初めて、ワイヤを滑車に経由させて牽引を行いました。今までにも滑車を使い L 字型に牽引したことはあるのですが、今回は Y 字型にし、2方向に引っぱってそのまん中に木を倒すという方法を探りました。慎重に作業した結果、無事に狙った位置に伐倒成功。あとは鯨の解体作業のようにテキパキと作業を終え、11:30にはアラカシも処理し終えて無事に本年の作業を終えました。

お昼は、この日冬至ということでかぶチャが並んだほか、かぶと油揚げの炊いたの、豆と昆布の炊き合わせ、前日から仕込んだ豚の角煮などご飯や漬け物も入れると豪華10品が並び、今年もくたなく皆が無事に作業を終えた事に感謝しながら、本年最後の遊林会料理を楽しみました。

今年も一年、本当にお疲れ様でした！

★12月の木ままクラブ

気軽に気ままに木曜日に活動する木ままクラブ。12月は2回の活動を行いました。

12/2 6人 ナラ枯れで枯れたアラカシの太木を伐採。枝も多く、苦労しました。

12/16 12人 ナラ枯れで枯れたナラとアラカシを伐採。ナラは林の奥にありましたが、ベテラン揃いの作業で成功。女性はリース作りなど。

1月は13日、20日が活動日です。

★河辺いきものの森スタッフルーム情報

2010年もあっという間に終わりを迎えたような気がします。2010年1月～12月の間、森の利用で、スタッフが対応した人数は、約320回・9,300人（みどりのつどい2,500人などは含まず）でした。この数字は学校だけでなく、各種イベントや大人の団体、遊林会や木ままクラブも含めた数字ではあるのですが、この数字を見たら、毎日が慌ただしく過ぎていき、一年があっという間というのもご理解いただけるのではないのでしょうか。決して歳をとったからではありませんよ！さて1月からは、2年前に作成したこの森の「植物図鑑」の販売に向けて動き出すのと、新たなプロジェクトも行うため、スタッフ一丸となっていきたいと思っています。2011年もどうぞよろしくお願いします。

★今年のナラ枯れ総括

今シーズン、夏の時点でこの森ではナラ枯れにより枯れた木が20本あるとお伝えしていましたが、秋にかけてさらに5本枯れたため、この森では今年計25本枯れたことになります。このうち10本がアラカシで、あとはすべてナラでした。

先日それらの切り株を見て回ったら、夏場（8月下旬～9月上旬）に伐採したナラ7本のうち、2本が切株脇から萌芽していました。通信10月号でも予想していたように、ナラ枯れによって枯れた木でも伐採時期によっては萌芽で復活する可能性があるのかもしれませんが、もちろんこの後、台木が枯れて新芽も枯れるかもしれませんし、運良く生長しても周辺を伐開していないので照度が不足して枯れるかもしれません。しかし、放っておけば死ぬはずの木がわずかでも復活する可能性があるのなら、その可能性を追求してみる価値があるように思います。来シーズンは、夏場にナラ枯れで木が枯れたらできるだけ早く伐採し、萌芽が出ることを期待したいと思います。

★秋の大人向けイベント終了

9月の物語作り、11月のリース作り、12月の葉っぱで年賀状作りのイベントが無事に終了しました。リース作りは、定員を超えるほどの大賑わいとなりました！他の2つは初の試みで、なじみがなかったためか、参加者はリース作りのように大入りにはなりませんでしたが。子どものイベントは毎年行っているの、定着しつつあるのですが、大人向けのイベントは数年前から始めたので、まだ試行錯誤しています。どのようなイベントが求められているのか、またイベントを行う時期や、イベントをどのようにして魅力的にみせるのか…多くのことを学ぶことができました。しかし、まだまだ勉強しなければいけないことばかりです！2011年も多くの方に楽しんでいただけるイベントを行っていききたいと思います！イベントはホームページや森のブログなどでもお知らせしますのでぜひご覧になって下さい。そして皆様のご参加、お待ちしております。

★1月の作業は…

冬は里山保全作業の本番。竹林整備や落ち葉かき、チップー作業などなどたくさんです。お昼は新年恒例のぜんざいです。

★2月の第2土曜は予定通り実施

2月の第2土曜日は祝日の翌日でネイチャーセンターは休館ですが、作業は予定通り2月12日（土）に実施します。ホームページに2011作業カレンダーあります！

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！